

堺マイスタディ事業

平成30年度予算要求額

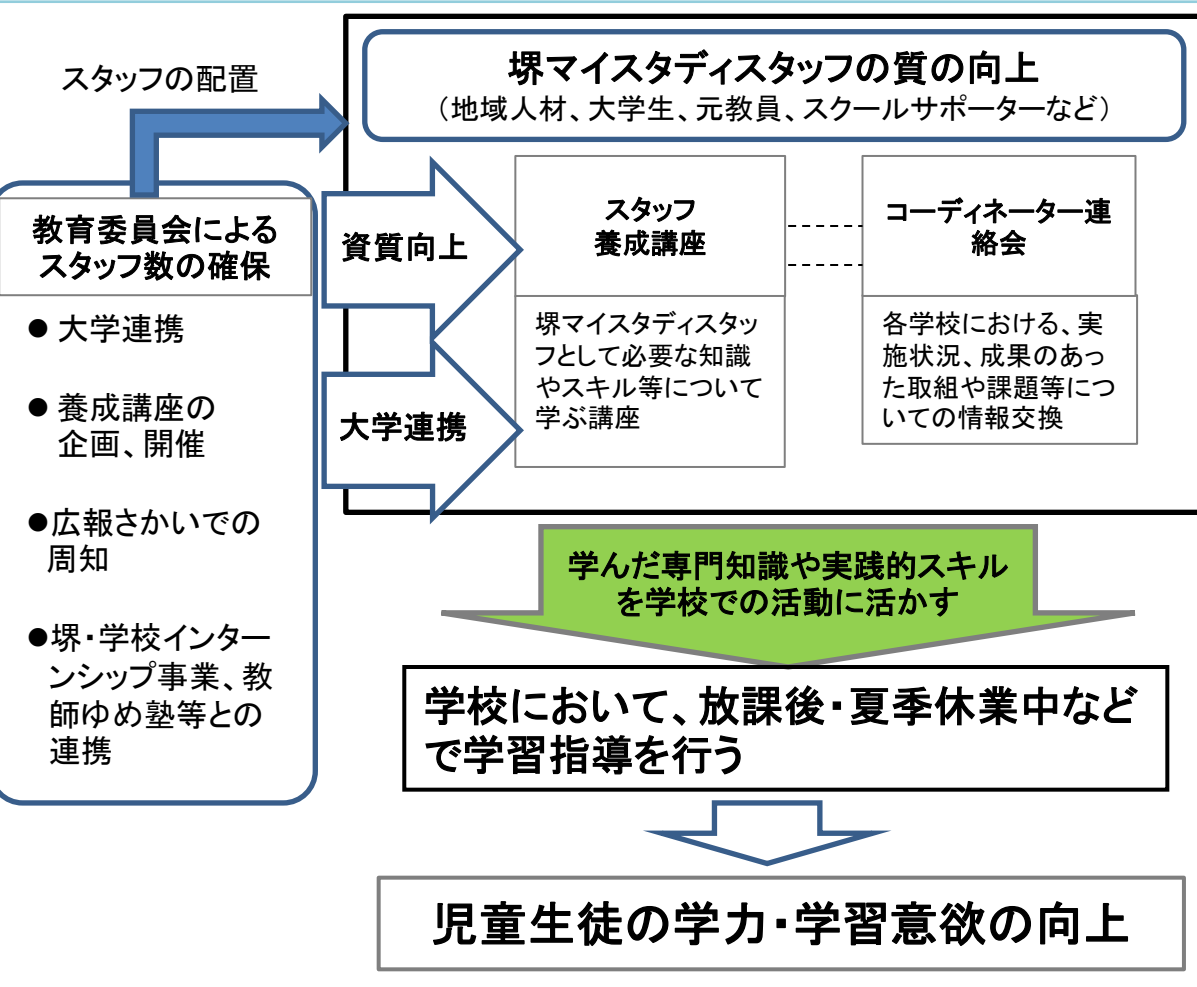
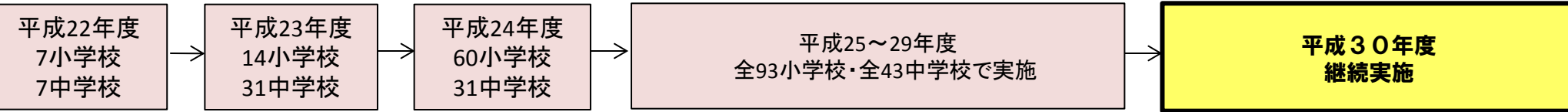
180,204千円（債務負担行為60,000千円）

①【平日マイスタディ】

（予算要求額 119,241千円）

目的：放課後、夏季休業中などを活用し、児童生徒の学びの状況に応じたきめ細かな学習指導を通して、一人ひとりの学力及び学習意欲の向上を図る。

<これまでの経緯と次年度の方向性>



<成果>

- ・参加児童生徒の約7割以上が「授業がよくわかるようになった」と回答
- ・参加児童生徒の保護者の約8割以上が「来年度も参加させたい」と回答

<課題>

- ・スタッフの数の確保
- ・スタッフの質の向上
- ・学校の授業や教員との連携

<対応>

- ・大学との連携による人材確保
- ・スタッフ養成講座を開講
- ・コーディネーター連絡会で情報交流し、連携方法や取組を充実
- ・各種事業等との連携による人材確保
- ・広報さかいでの積極的な広報

<養成講座実施により期待される効果>

スタッフが指導方法や児童生徒理解に関する知識を学ぶ機会を設けることで、指導スタッフの資質向上を図り、児童生徒の学びの状況に応じたきめ細かな学習指導により、一人ひとりの学力及び学習意欲の向上につながる。

堺マイスタディ事業

②【土曜マイスタディ】

目的：中学校で教育関連企業のノウハウ・コンテンツ・人材を活用し学習支援する機会を土曜日等に
 設け、学習意欲の向上や家庭学習習慣の定着を図る。

平成28年度 モデル12中学校で開始
 平成29年度 モデル12中学校で継続実施

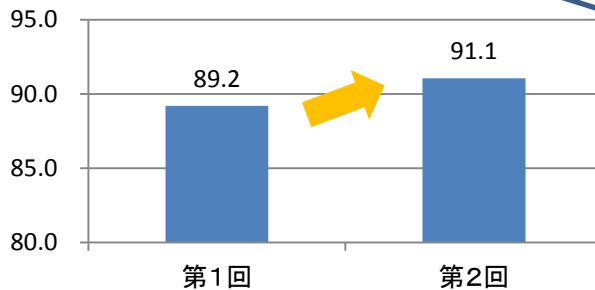
区	実施校	区	実施校
堺	なし	南	若松台、赤坂台
中	八田荘、深井	北	中百舌鳥
東	野田	美原	美原、美原西
西	浜寺、上野芝、鳳、津久野		

<課題>

- ・市内の全中学生が受講対象になっていない
- ・部活動との兼ね合いで毎回参加できない生徒がいる
- ・管理職をはじめ教員が出勤することが多く、学校の負担が増加している。

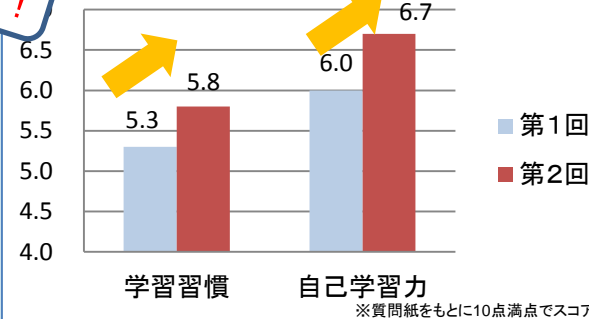
土曜マイスタディによる効果

中3生 土曜マイスタディ効果測定テスト(数学)
※全国平均を100として比較



参加者の
 学力向上!

中3生 家庭学習習慣定着調査



参加者の
 意欲の向上!

～保護者の声～

- 学習の機会が増え、保護者としても喜んでいる。
- 子どもも手ごたえをつかみ、テストの点も良くなってきた。
- 部活動との兼ね合いで参加できない時もある。是非、夜にも実施してほしい。

平成30年度の要求ポイント

- モデル実施校を12校→15校に拡充
- 「学校外会場型」をモデル実施(1か所)

<学校外会場での実施事例>

池田市	週3回	中央公民館	他5か所
岸和田市	週2回	新条地区公民館	他1か所
高石市	週2回	清高公民館	他1か所
寝屋川市	週2回	こどもセンター	他1か所
八尾市	週1回	青少年センター	他2か所
茨木市	週2回	耳原公民館	他1か所
大阪市(全24区役所が主体となり実施)			
・城東区	週2回	東中浜公園集会所	
・福島区	週2回	区民センター	
・天王寺区	週2回	区民センター	
・此花区	週2回	区民ホール	
・北区	週2回	豊崎東福祉会館地域集会所	等